

東濃障がい者総合支援センターとうぎ

vol.37 2018年/10月 発行

東濃障がい者総合支援センターとうぎ

陶技学園相談支援センター

東濃障がい者就業・生活支援センター サテライト

居宅支援センターとうぎ

センター通信

格別に暑かった夏を乗り切り

少しずつ周りの木々も色づきはじめました。

食欲の秋・実りの秋・読書にスポーツと楽しみの多い季節

センター職員も短い“秋”を楽しみたいと思います。

東濃障がい者就業・生活支援センター サテライト

多治見市小泉町2-93ルミナス小泉102号室 TEL :0572-26-9721

センター職員の
“猛暑だった夏”の
ひとこと

今年の夏は暑かった!!
多治見市 5年ぶりの 40.7℃を記録

Kさん…暑すぎでした(TT)蚊が少ないことには驚きでしたが。
Hさん…気候に負けず子どもの成長を実感した暑い夏でした。
Nさん…長崎へ家族旅行。どこに行っても熱中症気味(笑)

第26回 在職者交流会を行いました

9月15日(土)に瑞浪市市民福祉センターと瑞浪市消防本部にて在職者交流会が行われました。

今回は最近続いている災害もあり「身の守り方」を学びました。瑞浪消防署では、火災時の煙体験や、実際に消火器を使いモニターの火を消すなど体験することが出来ました。

また、消防署員の方より緊急時の電話の仕方などを学びました。なかなか実践となると難しいとは思いますが、教えて戴いたことを意識できると良いですね。体験で煙を吸った方はむせ返ったりしていましたが、貴重な体験が出来ました。

※別紙にて火災時の対応や非常時の持出袋についてを掲載してみました。是非ご利用ください。



7月から9月までのサテライト t の実績

	7月	8月	9月
新規求職者数	9	5	9
相談・支援件数	316	287	240
職業準備訓練及び 職場実習のあっせん件数	4	2	2
就職件数	3	2	1
職場訪問による 定着支援件数	53	49	40
発達障がい者支援 コンシェルジュ活動件数	83	50	58

陶技学園相談支援センター

多治見市小泉町2-93ルミナス小泉105号室
TEL :0572-26-7551

福祉サービスの利用に関する相談だけでなく、
様々なご相談に対応致します。

障害種別を問わず必要に応じて
訪問相談も可能です。



お気軽に
お問い合わせ
ください



居宅支援センターとうぎ

多治見市姫町2-2 TEL :0572-29-5421

異常なほどの猛暑・台風が過ぎ、やっと過ごしやすい季節になってまいりました。地域のみなさんがより良い生活を送れるよう支援に努めていきたいと思っております。私事ですが、先日初めて子どもの運動会に参加してきました。家ではとてもやんちゃな子なので幼稚園では大丈夫かと心配していましたが、お遊戯にもしっかり参加し友達と楽しそうにしている子どもの姿を見て安心させられました。子どもの成長は早いなあと改めて感じる今日この頃です。



陶技学園相談支援センター
東濃障がい者就業・生活支援センター サテライト t

J R 小泉駅より北西に徒歩2分



1. 住宅防火について

生活の基本はなんと言っても住宅なのではないでしょうか。家に帰れば大切な家族も待っていて、気持ちも安らぐことと思います。しかし建物火災による死亡者のうち住宅火災による死亡者の割合は84%（平成27年中）にのぼり、ほとんどの死亡者が住宅火災によるものと言えます。このことから住宅の防火対策がいかに大切なこととお分かりいただけるかと思えます。また、65歳以上の高齢者が上記の死亡割合に占める割合は67%（平成27年中）で過半数を占めています。

建物火災ではほとんどの方が住宅火災で亡くなり、その過半数は高齢者です。



火災は身近なものが原因で起きています。

- 住宅防火10のポイント
1. 煙たばこやたばこの投げ捨てをせず、たばこの火はしっかりと消す。
 2. ストブの付近には燃えやすいものを置かず、給油するとき火を消す。
 3. 料理をしているときはその場を離れず、離れるときは火を消す。
 4. 家の周りは整理整頓をし、放火されないように気をつける。
 5. 風の強いときは、たき火をしない。たき火をするときは消火用具の準備をする。
 6. 子どもには火遊びをさせない。花火などは大人と一緒にする。
 7. 電気器具は正しく使い、たこ足配線をやめる。またコードの上には重いものをのせない。
 8. コンセントなどにはホコリを付着させない。テレビの裏などは注意が必要。
 9. 住宅用火災警報器などを設置し、寝具やカーテンなどは防災製品を使用する。
 10. 高齢者や身体の不自由な人は近所同士で助け合い関係構築をしましょう。



火の元をしっかりと消す。火の元をしっかりと消す。

2. 消火器の正しい使い方

恐ろしい火災でも小さな火のうちには十分に消火できます。早く火災の発生を知ることができたら、ぜひ初期消火にチャレンジし被害を最小限で抑えましょう。

A. 消火器とは

消火器には色々なタイプがありますが、代表的なものに粉末を放出するものと消火液を放出するものがあります。大ききもいくつかあり、消火能力と関係します。しかし、大きな消火器は重たいため高齢者や女性には使いにくい場合があります。住宅用消火器は軽量でホースがないものもあり、赤色だけでなくカラフルなものがあります。また、エアゾール式の簡易タイプの消火器具もあり、殺虫剤のように使用できます。誰にでも使いやすく厨房のまわりなどに適しています。

家族を守る 住宅用火災機器等



B. 消火器の使い方について

消火器は非常に簡単な操作で使用できます。大まかには3動作で放射します。



1. 安全ピンを抜きます
2. ホースを火元に向けて放射します
※ホースのないものは上記の2が省略されます。
3. レバーを強く握り、噴射させます。

- ・消火器は炎ではなく、火元をねらって放射しましょう。
- ・放射の勢いで炎の吹き返しがありませんので姿勢を低くしましょう。
- ・油鍋などに放射するとき、鍋などがひっくり返らないように注意して放射しましょう。
- ・火元からは1.5～2m離れて放射しましょう。
- ・消火器で消火できる目安は炎が天井に移るまでです。炎が天井に移ったら早期に避難しましょう。

3. 避難の方法

火災から生命を守るためには初期消火も必要ですが、炎が天井に届いてしまった場合や高齢者、子ども、身体が不自由な方などは避難することが何よりも大切です。しかし火災から発生する煙には有毒ガスなども含まれており大変危険です。有毒ガスなど目に見えない脅威から身を守り、安全に避難するにはどうしたらよいか見ていきましょう。

- 少しでも危ないと思ったら無理をせず直ぐに避難を開始してください。
- 持ち物にはこだわらず直ぐに避難しましょう。
- 一度避難したら二度と戻らないようにしましょう。
- 火災の出ている部屋の戸は閉めて逃げましょう。煙の流出を抑えられます。
- 普段から家の二方向に避難できるよう計画を立てましょう。
- ハンカチやタオルなどを濡らして鼻と口を保護して逃げましょう。
- 煙がたれ込めたら、姿勢を低くして逃げましょう。
- 完全に煙にまかれたときなどは透明なビニール袋などに空気をを入れてから被ると個人差はありますが1分ほど呼吸ができます。
- どうしても避難できないときは入口の隙間に濡らした衣類やタオルなどを詰めて、窓から顔を出して救出を待ちましょう。このとき、大きな声を出して自分の存在を知らせましょう。

火災が拡大しているとき、無理に消火をせず避難しましょう。



避難方向がわからず迷ったときは、絶対に行き先を決めて避難しましょう。



一度避難したら、絶対に戻らないようにしましょう。



煙が広がってきたら、姿勢を低くして避難しましょう。



口には濡らしたタオルやハンカチなどを当てて呼吸をしましょう。

今後発生することが予想されている首都直下地震や南海トラフ巨大地震などでは、津波被害のほか、大都市特有の被害も多く発生するものと考えられます。

非常用持ち出しバッグの準備、できていますか？

自宅が被災したときは、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めおき、いつでも持ち出すようにしておきましょう。

非常時持ち出し品チェックリスト

飲料水 1人1日3Lが目安。	医薬品 洲薬、胃腸薬、脱脂粉、頭痛薬、絆創膏、包帯、絆創膏の類。	手袋(軍手) カシキの袖蓋や後手が、災害時の作業に役立つものを用意。	乾電池予備 ラジオや懐中電灯に使用するものを少し多めに。
食料品 乾パン、缶詰、ビスケット、チョコレートなど。缶詰は賞味期限切れのものも、缶詰は賞味期限切れのものも、缶詰は賞味期限切れのものも。	ろうそく 燃やさないようにビニール袋に入れて、保管する。	衣類 暖かい下着、タオルなど。	毛布 寝袋や毛布を準備し、必要に応じて活用。
缶切り 多機能なものが便利。	ヘルメット・防災頭巾 頭部や後頭部から頭を保護するために取り出せるように準備。	ラジオ 災害時に役に立つ。懐中電灯の電池も準備。	運動靴 避難する際に履きやすい靴を準備。
マッチ・ライター 加温やガス切れに注意。防水ライターも準備。	非常時持ち出しの備え 非常時には15kg、女性で10kg程度の自重にリュックなどの持ちやすさや状態を準備しておきましょう。	非常時持ち出しの備え 非常時には15kg、女性で10kg程度の自重にリュックなどの持ちやすさや状態を準備しておきましょう。	非常時持ち出しの備え 非常時には15kg、女性で10kg程度の自重にリュックなどの持ちやすさや状態を準備しておきましょう。

非常時持ち出し品チェックリスト